

ロジックモデル(目標観測弾)

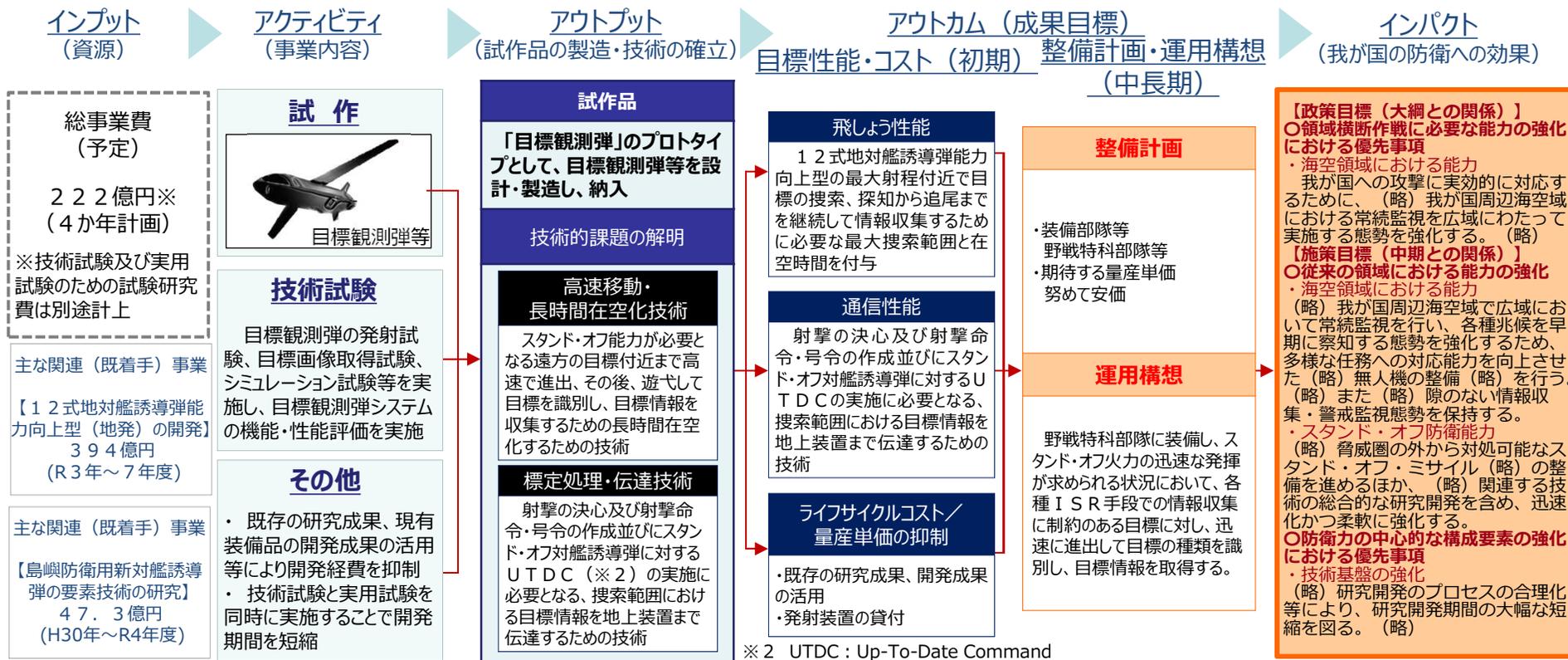
【事業の概要】

対海上及び対地射撃のため、大型UAV等の他のISR(※1)手段の進出及び情報収集が制限される状況下において、敵の防空網を回避及び進入しつつ迅速に目標付近に進出し、敵艦艇及び地上目標を捜索、探知及び識別して目標情報を取得するための目標観測弾を開発する。

※1 ISR: Intelligence, Surveillance, Reconnaissance

現状・課題

スタンド・オフ火力の迅速な発揮が求められる状況において、各種ISR手段での情報収集に制約のある目標に対し、迅速に進出して目標の種類を識別し、目標情報を取得可能なISR手段が必要である。



<開発実施線表>

年度	4	5	6	7	8	9
実施内容		本事業(試作)				
		←		→		
		技術試験/実用試験				
		←		→		

総合評価

本事業を実施することにより、対海上及び対地射撃のため、大型UAV等の他のISR手段の進出及び情報収集が制限される状況下において、敵の防空網を回避及び進入しつつ迅速に目標付近に進出し、敵艦艇及び地上目標を捜索、探知及び識別して目標情報を取得することが可能となり、隙の無い情報収集・警戒監視態勢を保持できることから、海空領域における能力発揮に寄与することができる。併せて、各種スタンド・オフ・ミサイルの効率的な能力発揮に寄与することができるため、スタンド・オフ防衛能力の早期強化の観点からもその必要性は認められる。